

記念講演会のご案内



「つなごう！能登への思い ～ソーシャルワーカーとしての実践・魂を語り合おう～」

今回の記念講演会は、令和6年能登半島地震後から各地で活動するMHSWの体験談や思いをお話していただきます。リレートークという初の試みで行います。

船橋 志乃歩さん (すず椿)	珠洲市在住。被災から現在までの思い、支援者として大切にしてきたこと等をインタビュー形式でお話していただきます。
岩尾 貴さん (くらし・しごと応援センターはるかぜ)	精神保健福祉士会として被災地に支援に入るため行政をはじめとする他機関や全国協会等への働きかけをしてきた時のSWとしての思い等をお話していただきます。
京元 祐理さん (加賀こころの病院)	令和6年3月、2週間にわたって珠洲市の支援に初めにはいった際に意識して行ったこと(現地の支援状況のアセスメント、行政や他支援団体とのつながりづくり等)についてお話をいただきます。
田辺 めぐみさん (公立能登総合病院)	能登地区の災害拠点病院としての機能の維持と実際に被災地に支援に入れない状況に対する葛藤を抱えながら、いまできることをする・あきらめずに働きかけつづける。そこにはSWとしてどんな思いがあったのか等をお話していただきます。
小川 義明さん (富山県支部)	日本協会からの派遣で2度珠洲市に支援に入った時の思いや隣県にいるSWとして今思うこと等をお話していただきます。
木谷 昌平さん (相談支援事業所 なんでも)	支援活動の中で自分でも気づかないうちにたまつてくる被災者としての気持ち。能登ブロック研修等の機会に気持ちを吐き出すことの大切さを知ったからこそ行っているSWの実践についてお話していただきます。
河元 寛泰さん (ピアサポートのと)	奥能登2市2町のそれぞれ違う災害支援体制をタイムリーに把握し、情報発信している。各市町の担当者等とのつながりを大切し、つながりを生かした支援と被災地のニーズに応えるというSWとしての思い等についてお話していただきます。
蔭西 操 (加賀こころの病院)	石川県から委託を受けた「保育所等巡回支援事業」、いしかわこころのケアセンターとの連携など多くの会員の方々の能登への思いがあったからこそできている活動について紹介。また、災害支援で感じたSWのつながりの強さ、共有する思いについてお話させていただきます。

7月5日(土) 総会終了後

「総会の出欠の締め切りは6月27日まで延長します。もう委任で出された方で今から会場参加に変更することもOKです。是非、会場でお会いしましょう」(蔭西)

my heart is
in NOTO

【お問合わせ】 石川県精神保健福祉士会 事務局

〒922-0424 加賀市小菅波町121番地1

医療法人社団長久会 加賀こころの病院 医療福祉相談室

TEL : 0761-72-0880 Mail : kokoro-chiiki-soudan@chokyu.gr.jp